

SDGsを目指す農林水産業の未来のために

近畿大学アグリ技術革新研究所

第1回テクニカルセミナー

(ナカライテスク株式会社 協賛)

2021年1月29日(金)

16:30~17:30

On line 開催 (Zoom)

近畿大学教職員・学生・研究員聴講可

入場無料
申込不要

講師 | 塩川愛絵

低分子化合物による

細胞内タンパク質発現調節

—細胞内タンパク質分解システムについて

Tocris, Field
Application Scientist
(医学博士・獣医師)

Targeted Protein Degradation (TPD)または標的タンパク質分解は、ユビキチン-プロテアソーム システム(UPS)を利用した、細胞内タンパク質分解システムです。標的タンパク質とE3リガーゼをキメラ低分子化合物を使って人工的に引き合わせることで、標的タンパク質のユビキチン化を行います。ユビキチン化されたタンパク質は、細胞内プロテアソームによりペプチドに分解され、薬理作用を発現します。

従来の低分子阻害剤では制御が困難であった、酵素活性を持たないタンパク質を標的に出来るだけでなく、阻害剤とは異なる薬理作用が発見される可能性もあります。本技術セミナーでは、TPD研究の加速に有用な全自動ウエスタン機器の技術解説も行います。**PROTAC** (PROteolysis TARgetting Chimera)はArvinas Operationsの商標であり、Tocrisの**Degrader**はライセンス下で製造販売しています。



世話人 | 森山達哉 (近畿大学アグリ技術革新研究所)

お問い合わせ | tmoriyama@nara.kindai.ac.jp